

事務事業名		乳幼児保健事業		会計	一般会計		事業種別		政策	開始	S36	終了	
H27担当課等名		保健課		H27係等名		保健指導係		H26係等名		保健指導係			
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり									
		施策	31	心と体の健康づくり									
目的	対象(誰・何を)	0～3歳児とその保護者											
	意図(どうい状態にするか)	①疾病の早期発見と健やかな発達 ②保護者の育児不安が軽減する											
	向上させたい上位施策の成果指標	心身ともに健康であると感じている市民の割合 %											
		指標名及び単位		26年度計画		26年度実績		27年度計画		28年度見込み		備考(指標変更など)	
目標	種別	指標名及び単位											
	成果指標	各健診の受診率(4か月・1.6歳・3歳) %		95	96.6	95	95						
	成果指標	母子個人相談と電話相談件数 人		3500	3360	3400	3300						
定性目標													
事業概要		<p>乳幼児の病気の予防と早期発見および健康の保持、増進を目的として、乳幼児健診、家庭訪問、育児相談等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな成長と保護者がそれを喜べるよう子育て支援を行う。 ・発育、発達について保護者が客観的に確認でき、育児の見通しを持つ機会とする。 ・保護者の心配事や不安が軽減され、育児について具体的な方法を考える機会とする。 ・継続支援が必要な場合は、専門機関へ紹介する。 											
26年度事業内容		事業内容				名称				活動指標			
		1 股関節脱臼検診、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診の実施 2 1歳6か月児健診と3歳児健診のスタッフとして、臨床心理士を配置する				1 健診実施回数、受診人数 1) 股関節脱臼検診 2) 乳幼児健診 2 心理相談実施回数、人数				1 1) 24回 826人 2) 120回 2,502人 2 72回 156人			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		8,703	9,919	8,801	9,781								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		8,703	9,919	8,801	9,781								
人件費計(千円)②		6,437		5,851									
正規職員所要時間		1,800		1,504									
臨時職員所要時間				440									
総事業費①+②		15,140	9,919	14,652	9,781								
事業内容・目標達成状況の振り返り		<ul style="list-style-type: none"> ・各種健診の受診率は95%以上を維持している。未受診者には電話や家庭訪問によって受診勧奨や状況把握を行っている。 ・健診における臨床心理士の相談回数は25年度に比べ25回増加したが、依然として臨床心理士の確保は難しい状況である。平成27年度は87回中66回の配置にとどまっている。 											
改革改善の考え方		①問題点 乳幼児健診の実施回数は現状で妥当であるが、保健センターの改築および上郷公民館の建設に伴い、乳幼児健診会場の変更について検討が必要となっている。 臨床心理士は募集をしても応募がない。こども家庭応援センター、こども発達センターひまわりからの派遣も十分でなく、臨床心理士の配置は健診回数の75%ほどである。											
		②改革提案 平成25年度から本庁・上郷・鼎会場の乳幼児健診を鼎保健センターで実施している。平成29年度保健センター開設に伴い会場の検討を行う。 臨床心理士の派遣について、こども家庭応援センター等に引き続き要望する。											